

平成 28 年 5 月 30 日

事務連絡

近畿本部、四国本部、九州本部
各本部長各位

中国本部長 大田一夫

第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会への論文募集について【依頼】

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より中国本部に格別のご支援を賜りまして厚くお礼申しあげます。

さて、平成 28 年 10 月に、当本部主催による「第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会」を島根県松江市で開催致します。開催概要は、別途資料（開催趣意書及びパンフレット）のとおりで、大会テーマを『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり』としています。

つきましては、大会テーマにそった内容での論文発表者を募集しますので、選任の上、ご推薦いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

論文テーマ : 『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり』

発表時間 : 各 30 分(質疑応答 5 分を含む)

論文提出希望 : (第一分科会) 一般で担当

テーマ『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり』

近畿、四国、九州及び中国の各地域本部で各 2 編

(第二分科会) 青年で担当

テーマ『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり』

サブテーマ「青年がつなぐ技術と社会」

近畿、四国、九州及び中国の各地域本部で各 1 編

論文受付

① 発表要旨の提出期限 : 7 月 1 日 (金)

② 報告内容 : 発表要旨 (下記)

③ 報告先 : 中国本部事務局宛 (乗安または勝田)

ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp (メールにて)

④ 論文作成要領等 : 7 月 15 日 (金) までに選考結果と合わせてお送りします。

⑤ 論文提出期限 : 9 月 15 日 (木)

発 表 要 旨

【発表テーマ】「〇〇・・・に関する研究」・・・(仮題) で結構です。

【発表者名】連名の場合は、発表者に○印

【発表者連絡先】連絡先(住所、電話、e-mail)

【キーワード】3～5 程度

【発表要旨】400 文字程度 (A4 1 ページ)

※なお、論本文は、20 字×40 行の 2 段組みで 4 ページ以内 (偶数ページとします
ので、2 ページか 4 ページ) です (10.5 ポイント)。

* 中国本部広報委員会において発表要旨を確認し、最終的に第一分科会 8 編、第二分科会 4 編を選考いたします。選考結果通知は平成 28 年 7 月 15 日 (金) までに発表者へご連絡を差し上げます。

第 22 回西日本技術士研究・業績発表年次大会（案）

1. 開催趣旨

我が国は本格的な人口減少社会に突入し、今後は加速度的に人口が減少することが見込まれています。こうした中、国において、人口減少と地域経済縮小という課題に対応するため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されました。

人口減少による地方の活力低下はとどめがなく、少子高齢化、中山間地問題、中心市街地空洞化など、緊急に方向を出さねばなりません。そこで地方自治体は平成27年秋に「地方版総合戦略」を策定しました。その中心となるのが「まち・ひと・しごと」です。

そこで、『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり』をテーマとする「第22回西日本技術士研究・業績発表年次大会」を島根県松江市で開催することにしました。

国や自治体の財政事情が厳しさを増す中で、地域創生を成功させるためには、「地域における産学官の連携」が重要であると考えられます。

その中で、民間事業者や地域住民も含めた民間（これを「産」とする）では、地方に埋もれた資源や魅力を掘り起こして、地域の特色を活かした活性化策をつくり、ノウハウや資金を活用し施設の整備や運営を効率化することが望まれます。一方、国や自治体からなる「官」は、民間主導で提案された活性化策に対するモニタリングと適切な事業評価による財政支援を受け持ち、地元の大学等の教育機関である「学」はこれらをプレーヤー育成（人づくり）や技術的なアドバイスの面でサポートする役割を担い、三者が一体となって地域再生に取り組むことが必要だと思います。

地方創生に関する国の事業は、ほぼ全省庁にまたがっていますが、技術士も21部門に分かれて科学技術のほぼ全域をカバーしており、また、技術士の勤務先はコンサルタントとして自営する者、コンサルタント企業及び各種企業に属している者、さらには役所や大学・高専等の教育機関にも属している者がおり、言わば産学官の全てに属しており、連携し易い環境にあります。従って、「地方創生」は技術士が社会貢献するのに相応しいテーマではないかと考えられます。

今回は、第一分科会（一般）及び第二分科会（青年）の2分科会の構成としております。

第一分科会テーマは、

『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり』

第二分科会テーマは、

『地方から考える「まち・ひと・しごと」～技術士の関わり』

（サブテーマ「青年がつなぐ技術と社会」）

各本部各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2. 開催日・会場・テーマ

開催月日 : 平成28年10月28日（金）～10月29日（土）

開催地 : 松江テルサ（松江市朝日町478-18）

テーマ : 地方から考える「まち・ひと・しごと」技術士の関わり

1日目（10月28日）

●テクニカルツアー：国宝松江城及び松江歴史館、松江バイオマス発電所をガイドの案内により見学します。

時 間 : 13:00～17:00

集合場所 : JR 松江駅南口（松江ユニバーサルホテル前）

参加人数 : 40 名

参加費 : 3,000 円（入館料、バス代）

●レセプション（アトラクション：安来節）

時 間 : 18:00～20:00
 会 場 : JR 松江駅北口 エクセルホテル東急（旧：東急イン）松江市朝日町
 590 番地、TEL0852-27-0109）
 参加人数 : 80 名
 参加費 : 6,000 円

2 日目（10月29日）

●年次大会

時 間 : 9:00～16:40
 集合場所 : JR 松江駅北口 松江テルサ（松江市朝日町 478-16、TEL0852-31-5550）
 参加人数 : 200 名（正・準会員）
 参加費 : 会員 3,000 円（論文集含む）、非会員 4,000 円、弁当 1,000 円

3. 年次大会次第

司 会 : 中国本部事業委員長 岡本 亮
 受 付 : 8:30～9:00

- ① 記念式典 : 9:00～ 9:45
 主催者挨拶（中国本部長 大田一夫）
 来賓挨拶（日本技術士会会長 吉田克己様（依頼予定））
 ② 基調講演 : 9:45～11:00
 演 題 : 地方から考える「まち・ひと・しごと～技術士の関わり」
 講演者 : 藻谷浩介氏
 ③ 分科会 : 11:10～16:40

第1分科会（一般）	第2分科会（青年）
開催場所：松江テルサ 4 階 大会議室	開催場所：松江テルサ 4 階 中会議室
(A) 論文発表 1 : 11:10～11:40 (B) 論文発表 2 : 11:40～12:10 (昼食 12:10～13:00) (C) 論文発表 3 : 13:00～13:30 (D) 論文発表 4 : 13:30～14:00 (E) 論文発表 5 : 14:00～14:30 (休憩 14:30～14:40) (F) 論文発表 6 : 14:40～15:10 (G) 論文発表 7 : 15:10～15:40 (H) 論文発表 8 : 15:40～16:10 総括 : 16:10～16:20	(A) 論文発表 1 : 11:10～11:40 (B) 論文発表 2 : 11:40～12:10 (昼食 12:10～13:00) (C) 論文発表 3 : 13:00～13:30 (D) 論文発表 4 : 13:30～14:00 (休憩 14:00～14:10) ワークショップ・ディスカッション 等のイベント : 14:10～15:40 総括 : 15:40～16:00
大会講評 : 16:20～16:30 次回案内 : 16:30～16:35	

- ④ 閉会挨拶（日本技術士会 理事 伊藤徹氏） 16:35～16:40

大会に関する問い合わせ先：中国本部事務局（乗安、勝田）
 〒730-0017 広島市中区鉄砲町 1-20 第三ウエノヤビル 6F
 TEL : 082-511-0305 : 082-511-0309
 e-mail : ipej-hiro@rapid.ocn.ne.jp